

令和7年度

「運営に関する計画」

大阪市立片江小学校

令和7年5月

大阪市立片江小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、大阪市教育振興基本計画を踏まえて、「知・徳・体の調和のとれた子どもの育成」を学校教育目標として掲げ、教育活動を進めています。一人一人に内在している「学力」「体力」「心の力」を総合的に駆使しながら、課題を解決していく子どもの育成を図っています。子どもの「学力」「体力」「心の力」の実態としては次のようなことが言えます。

- ・令和6年度の大阪市学力経年調査の本校の各学年・各教科の平均正答率は、大阪市よりもやや低い傾向がみられます。
- ・休み時間には運動場に出てよく遊び、元気な児童が多くいます。ただ、全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果では、全般的な体力は全国及び本市の平均を下回っています。
- ・音楽科や図画工作科において表現力が高く、学習発表会や作品展では高い評価を得ています。
- ・穏やかで優しく、素直で明るい子どもが多くいます。

保護者や地域の方々は、概ね本校の教育活動に協力的で、地域に開かれて安心して通うことのできる学校であることを強く願っておられます。片江小学校は、保護者や地域からの温かい力添えを受けながら、みんなとともに楽しく学び続け、「子どもも教職員も失敗をおそれず挑戦する学校」をめざしています。

昨年度の総括より、特に今年度は以下の点を重視して学校運営を行っていきます。

- ・「いじめ」はいけないことだという意識の醸成のため、互いの個性や頑張りを認めあうことができるような集団の育成を図ります。
- ・きまりの根拠や、きまりを守る必要性を児童や保護者に提示したり、きまりを守りにくい児童への対応は教職員で共有したりして改善に取り組みます。
- ・学校と地域とが連携してあいさつを活発に行うことができるようにします。
- ・体験活動の重視やカリキュラム・マネジメントなどを行います。
- ・「主体的、対話的で深い学び」となるよう授業改革を進めていきます。
- ・特別支援教育や通級による指導の充実を図ります。
- ・ICTの活用をよりいっそう進めます。
- ・大阪市総合教育センターと連携して、PBSや不登校対策の取り組みを進めます。
- ・保護者や地域への情報発信を積極的に行い、学校教育への協力をよりいっそう仰いでいきます。

中期目標

今年度末までの中期目標であり、数値を見直し達成をめざします。

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83%以上にします。

- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を８０％以上にします。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させます。
- 児童対象の学校教育アンケートの「学校は楽しいです」の肯定的回答を９１％以上にします。
- 児童対象の学校教育アンケートの「学校のきまりをまもっています」の肯定的回答を９１％以上にします。
- 児童対象の学校教育アンケートの「自分からすすんであいさつはできています」の肯定的回答を８８％以上にします。
- 児童対象の学校教育アンケートの「元気グループ（異学年グループ）の活動が楽しいです」の肯定的回答を８１％以上にします。
- 保護者対象の学校教育アンケートの「学校は、子どもの健康・安全に対する取組を進めている」の肯定的回答を９６％以上にします。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を４４％以上にします。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より０．２ポイント向上させます。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を８５％以上にします。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を７６％以上にします。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を５６％以上にします。
- 児童対象の学校教育アンケートの「本を読むのが好きです」の肯定的回答を８１％以上にします。
- 児童対象の学校教育アンケートの「学習が好きです」（各教科平均）の肯定的回答を、８１％以上にします。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の５０％以上にします。〔ただし、事務局が定める学校行事等ＩＣＴ活用が適さない日数を除きます〕
- 「学校園における働き方改革プラン」に掲げる、教員の勤務時間に関する基準Ⅰ（時間外勤務月４５時間未満）を満たす教員の割合を５１％以上にします。
- 保護者対象の学校教育アンケートの「学校は、必要に応じた保護者との連絡や情報発信を進めている」の肯定的回答を９６％以上にします。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83%以上にします。
(令和6年度 実績値79.6%)
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にします。
(令和6年度 実績値79.9%)
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させます。
(令和6年度 前年度より5名増加)

〈学校独自の目標〉

- 児童対象の学校教育アンケートの「学校は楽しいです」の肯定的回答を93%以上にします。
(令和6年度 実績値92%)
- 児童対象の学校教育アンケートの「学校のきまりをまもっています」の肯定的回答を91%以上にします。
(令和6年度 実績値90%)
- 児童対象の学校教育アンケートの「自分からすすんであいさつはできています」の肯定的回答を88%以上にします。
(令和6年度 実績値82%)
- 児童対象の学校生活アンケートの「元気グループ（異学年グループ）の活動が楽しいです」の肯定的回答を84%以上にします。
(令和6年度 実績値83%)
- 保護者対象の学校教育アンケートの「学校は、子どもの健康・安全に対する取組を進めている」の肯定的回答を96%以上にします。
(令和6年度 実績値90%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を41%以上にします。
(令和6年度 実績値40.1%)
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させます。
(令和6年度は、実績値
国語：4年生は0.5ポイント向上、5・6年生は下降
算数：4年生は0.4ポイント向上、5・6年生は下降)

〈学校独自の目標〉

- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%にします。
(令和6年度 実績値76.6%)
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にします。
(令和6年度 実績値63.4%)

- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を６８％以上にします。（令和６年度 実績値６６．９％）
- 児童対象の学校生活アンケートの「本を読むのが好きです」の肯定的回答を７７％以上にします。（令和６年度 実績値７５％）
- 児童対象の学校教育アンケートの「学習が好きです」（各教科平均）の肯定的回答を８０％以上にします。（令和６年度 実績値７９％）

【学びを支える教育環境の充実】

〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉

- 授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の５０％を超えるようにします。（ただし、事務局が定める学校行事等ＩＣＴ活用が適さない日数を除きます）（令和６年度 実績 ０日）
- 「学校園における働き方改革プラン」に掲げる、教員の勤務時間に関する基準Ⅰ（時間外勤務月４５時間未満）を満たす教員の割合を５７％以上にします。（令和６年度 実績値５５．９％）

〈学校独自の目標〉

- 児童対象の学校教育アンケートの「学習者用端末を使った学習は楽しい」の肯定的回答を７０％以上にする。（前年度の実績値なし）
- 保護者対象の学校教育アンケートの「学校は、必要に応じた保護者との連絡や情報発信を進めている」の肯定的回答を９１％以上にする。（令和６年度 実績値９０％）
また、最も強い肯定的回答を５５％以上にする。（令和６年度 実績値５３％）

３ 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立片江小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
最重要目標1【安全・安心な教育の推進】 〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉 ○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83%以上にします。 （令和6年度 実績値79.6%） ○ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にします。 （令和6年度 実績値79.9%） ○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させます。 （令和6年度 前年度より5名増加） 〈学校独自の目標〉 ○ 児童対象の学校教育アンケートの「学校は楽しいです」の肯定的回答を93%以上にします。 （令和6年度 実績値92%） ○ 児童対象の学校教育アンケートの「学校のきまりをまもっています」の肯定的回答を91%以上にします。 （令和6年度 実績値90%） ○ 児童対象の学校教育アンケートの「自分からすすんであいさつはできています」の肯定的回答を88%以上にします。 （令和6年度 実績値82%） ○ 児童対象の学校生活アンケートの「元気グループ（異学年グループ）の活動が楽しいです」の肯定的回答を84%以上にします。 （令和6年度 実績値83%） ○ 保護者対象の学校教育アンケートの「学校は、子どもの健康・安全に対する取組を進めている」の肯定的回答を96%以上にします。 （令和6年度 実績値90%）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①【(1)安全・安心な教育環境の実現】 ○ いじめのアンケート調査を6月・9月・12月・2月に実施し、当該児童からの訴えを的確に聞き取ります。 ○ 各学年でいじめを防止する学習に取り組みます。 <hr/> 指標 ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83%以上にします。	

<p>取組内容②【(1)安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○ PBSを基本として、学級活動や道徳の学習などを通して、自尊感情を高められる肯定的な言葉（あったか言葉など）を使う集団育成を全学年で進めます。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にします。</p>	
<p>取組内容③【(1)安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○ みんなが気持ちよく、楽しく学校生活を送れるよう、掲示物や児童朝会等でわかりやすく知らせたり、学校のきまりの大切さを児童と一緒に考えたりする機会を持ったりします。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・児童対象の学校教育アンケートの「学校のきまりをまもっています」の肯定的回答を91%以上にします。</p>	
<p>取組内容④【(1)安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○ 区役所（子育て支援室・こどもサポートネット）・こども相談センターとの連携を図り、問題事象の早期解決を図るようにします。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・スクリーニングシートや連絡票を用いて関係諸機関と月1回連絡を取り合い、情報や対策方針の共有を図ります。</p>	
<p>取組内容⑤【(2)豊かな心の育成】</p> <p>○ 月別生活目標や、児童会の取組みに「あいさつ」を位置づけ、あいさつを自分からすすんでしっかりできる児童を育てます。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・学級や児童朝会などであいさつのよさについて知らせ、学期に一回以上の具体的な取り組みを実施します。</p>	
<p>取組内容⑥【(2)豊かな心の育成】</p> <p>○ 毎週、元気グループ（異学年グループ）の活動を実施します。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・児童対象の学校生活アンケートの「元気グループ（異学年グループ）の活動が楽しいです」の肯定的回答を84%以上にします。</p>	
<p>取組内容⑦【(2)豊かな心の育成】</p> <p>○ 通級指導を受けている児童や、特別支援学級に在籍している児童の情報共有を行い、学校全体で児童を指導していくようにします。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・月一回の児童理解や特別支援教育全体会などを活用して、配慮を要する児童や特別支援学級に在籍する児童の情報の共有を図ります。</p> <p>・PBSや自立活動に関する研修を年3回実施します。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立片江小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
最重要目標2【未来を切り拓く学力・体力の向上】 〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉 ○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を41%以上にします。 ○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させます。 〈学校独自の目標〉 ○ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にします。 ○ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にします。 ○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を68%以上にします。 ○ 児童対象の学校教育アンケートの「本を読むのが好きです」の肯定的回答を77%以上にします。 ○ 児童対象の学校教育アンケートの「学習が好きです」（各教科平均）の肯定的回答を、80%以上にします。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【(4) 誰一人取り残さない学力の向上】 ○ 児童が学習に対して興味・関心をもつことができるよう、導入や話し合いの場などの工夫をし、教員一人ひとりの授業力を向上させて学力の向上を図ります。 また、体験的な学習などを取り入れ、意欲の向上を図り、成就感をもたせ、児童の学習意欲を高める取り組みを行います。	
指標 ・一人1回以上の研究授業や公開授業を行います。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率を、同一母集団において比較し、いずれも前年度より0.2ポイント向上させます。	

<p>取組内容②【(4) 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○ 学年に応じた家庭学習の時間を設定するとともに、課題の出し方の工夫を行い、児童が「できる」「わかる」という楽しさを味わうことができるようにします。</p> <p>また、読書や自主学習の取組みを推奨し、すすんで取り組もうとする意欲を育てます。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童対象の学校教育アンケート「毎日きちんと家庭学習（宿題）をしています。」の肯定的回答を95%以上、「自主学習に取り組んでいます。」の肯定的回答を60%以上にします。 ・児童対象の学校教育アンケート「本を読むのが好きです」の肯定的回答を77%以上にします。 	
<p>取組内容③【(5) 健やかな体の育成】</p> <p>○ 準備運動に体づくり運動や「走る」「跳ぶ」などの基礎的な運動を取り入れ、児童の基礎的な運動能力を養うようにします。また、休み時間に運動する機会を持つことで、子どもの体力向上に取り組めます。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動に「走・跳」の運動を取り入れ、毎時間実施します。 ・運動委員会の児童が行う運動週間を年2回以上実施します。 	
<p>取組内容④【(5) 健やかな体の育成】</p> <p>○ 健康な生活についての指導を充実し、児童の健康促進を図ります。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する強調週間を年2回以上実施します。 ・給食だより、保健だよりを季刊発行し、各学年、栄養指導を年1回以上実施します。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立片江小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
最重要目標3【学びを支える教育環境の充実】 〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉 ○ 授業日において児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%を超えるようにします。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除きます）（令和6年度 実績0日） ○ 「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準Ⅰ（時間外勤務月45時間未満）を満たす教員の割合を57%以上にします。（令和6年度 実績値55.9%） 〈学校独自の目標〉 ○ 児童対象の学校教育アンケートの「学習者用端末を使った学習は楽しい」の肯定的回答を70%以上にします。（前年度の実績値なし） ○ 保護者対象の学校教育アンケートの「学校は、必要に応じた保護者との連絡や情報発信を進めている」の肯定的回答を91%以上にします。（令和6年度 実績値90%） また、最も強い肯定回答を55%以上にします。（令和6年度 実績値53%）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【(6) 教育DX(デジタルトランスフォーメーションの推進)】 ○ 視覚支援や意思疎通のための一助となるICT機器を活用した授業を各学年で取り組むことにより、情報活用能力の向上を図ります。 ----- 指標 ・各学級で児童が学習用端末を活用した学習を週に1回以上行います。	
取組内容②【(7) 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○ 「学校園における働き方改革プラン」が掲げる達成基準を目標として、会議や行事の精選など教職員の働き方改革を推進し、教職員が安全に勤務できる職場環境づくりに努めます。 ----- 指標 ・「学校園における働き方改革プラン」に掲げる、教員の勤務時間に関する基準Ⅰ（時間外勤務月45時間未満）を満たす教員の割合を57%以上にします。	
取組内容③【(9) 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 ○ ミマモルメや学校ホームページ、学校だより、学年だよりによる発信を積極的に行います。	

<p>指標</p> <p>○ 保護者対象の学校教育アンケートの「学校は、必要に応じた保護者との連絡や情報発信を進めている」の肯定的回答を91%以上にします。</p> <p style="text-align: right;">(令和6年度 実績値90%)</p> <p>また、最も強い肯定回答を55%以上にします。 (令和6年度 実績値53%)</p>	
<p>取組内容④【(9) 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>○ 運動会、作品展、学習発表会などの学校行事を通じて子どもたちの情操を豊かにし、高学年の活動や作品を見習い、憧れとなるようにします。</p>	
<p>指標</p> <p>・児童対象の学校教育アンケートの「学校行事は楽しいです」の最も肯定的な回答を85%以上にします。</p> <p style="text-align: right;">(令和6年度 実績値81%)</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p style="text-align: center;">次年度への改善点</p>	